

山田小  
学校だより  
令和7年  
11月号



\* 本校のHPにも掲載しています。 <https://www.katori-edu.jp/yamada-e/>

# 自分の力でできるように！



まさに秋本番を迎え、山田小学校の児童は勉強に運動に張り切って取り組んでいます。

この1ヶ月、子ども達は学校の外で学習をする機会がたくさんありました。遠足的行事として、1年生は成田ゆめ牧場に、2年生は茨城県アクアワールド大洗水族館、4年生は千葉市動物公園から千葉都市モノレールに乗って千葉市科学館に行ってきました。6年生は、11月13日(木)14日(金)に鎌倉・箱根方面に修学旅行に行きます。(3年生は1月に幕張の大型商業施設内にある職業体験施設カンドゥーに行きます。)

6年生の修学旅行では、鎌倉の街中を自分達で見学先を決めてグループで行動するなど、先生を頼ることなく主体的に判断し行動する力が身に付けられるようにしています。このことは、6年生に限らずどの学年でも、その学年の発達段階に応じて実施しており、「自立」した児童の育成に努めています。大人がやれば時間もかからず無駄も少なく、効率的にできることではありますが、山田小学校では子ども達に任せてやらせてみる機会を今後もできるだけ多くつくっていきます。



## こんな子ども達が育っています！

前期終業式の際に、校長から“おいしいおまんじゅう”についてある女の子の話をしました。

その女の子は、私(校長)が教室で話合いをしている場面を参観したとき、机上有るプリントの向きを私が見やすいよう向きを変えてくれました。自分も見なければならぬプリントであったにもかかわらず、私のことに気を配る姿に感動し、終業式で全校の児童に紹介をしました。

ここまででも、“おいしいおまんじゅう”になってきているのですが、数日後、この話をしっかり聞いていた別の学年の男の子2人が、まったく同じように私が教室を訪れた際に、気を配って教科書などを見やすく置いてくれました。

他にも、私が歩きやすいようにちょっと机を移動してくれる子もいました。自分以外の人のために心配りができる子が山田小学校にはいます。

保護者の方や地域の皆様の力を借りながら、学校経営を進めているところではありますが、様々な立場の人と一緒に学習する機会を得ていることは、こういった心配りを自然にできる子を育てる大変よい機会となっています。

「目配り・気配り・心配り」ができることは、当たり前のことかもしれませんが、なかなかできることではありません。家庭や地域で、同じような場面があったらぜひ学校にもお知らせください。



# 山田小学校の様子（10・11月）



10月20日、神崎町より澤田さんを始め3名の方を招いて、2年生が藍染に挑戦しました。この世に一つしかないTシャツや靴下などができあがり、子ども達は大喜び。伝統工芸に触れられる貴重な機会にもなりました。



10月17日、仁良区の竹蓋さんに協力を得て、1年生が親子で芋ほりをしました。自分達で苗植えをした芋が大きく育ち、収穫する大変さを感じながらも、あちこちから楽しそうな声があがりました。



10月20日、JAさんの協力を得て栽培してきたバケツ稲の脱穀作業や精米作業に5年生が挑戦しました。これまでの学習と同様に、手作業で行うことの大変さを感じたようです。



10月17日、東総運動場を会場に郡市陸上大会が開催されました。山田小の選手も大活躍！男子ソフトボール投げとリレーでは優勝しました。運動部全員が目標に向かって努力した成果でした。



10月23日、3年生はちば醤油工場に見学に行きました。製造過程についてモデルを通して教えていただいた際には、匂いが徐々に普段食しているものに近づいていくことに感動の声があがりました。



10月20日、6年生は理科の学習で銚子の屏風ヶ浦に行きました。大昔に作られたものが目の前にあったり、触れたりすることができることに自然の力を感じるよい機会になりました。

10月29日、香取・佐原ユネスコ協会の方々による天体観望会（4年生以上対象）が行われました。保護者の方々も含め50名ほどの人が天体望遠鏡を使って、月や星を観察しました。当日は雲も多く星空観察には厳しい状況でした。そこで、協会の方々からも再度挑戦の声が上がりました。日程が決まりましたらお知らせいたしますので、今回参加できなかった方々もぜひご参加ください。

